

有限会社福田鉄工所

■事業

新型プレスブレーキ機導入による
高精度部品の加工方法確立と生産性の向上

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

ハイブリッドドライブベンダー HG8025

積極的に新技術や設備を導入 顧客との厚い信頼が財産

【経営理念】

明るく活動に満ちた職場
社業の発展を通じて社会に貢献する
調和のとれた人間形成をめざし技術向上をはかる

有限会社福田鉄工所は、1946(昭和21)年に松江市伊勢宮町で創業し、以来、多様な形状の金属製品の加工を手掛けてきた。

新しい技術や設備の導入にも積極的で、山陰でもいち早く1985(昭和60)年にレーザー加工機を取り入れた。培ってきた知識とノウハウで、現在では複雑な形状の部品のレーザー加工が強みの一つになっている。顧客の要望を踏まえ、最適な結果につながるようカスタマイズしているのをはじめ、顧客からさまざまな相談を受けるなど、築いた信頼は厚い。

当社が扱う金属は主にステンレスと鉄で、アルミなどの注文も受ける。製品のサイズや用途は千差万別。小ロット多品種の注文も多く、高い技術力で対応している。

新型プレスブレーキ機導入で業務が拡大 安全で使いやすい環境も実現

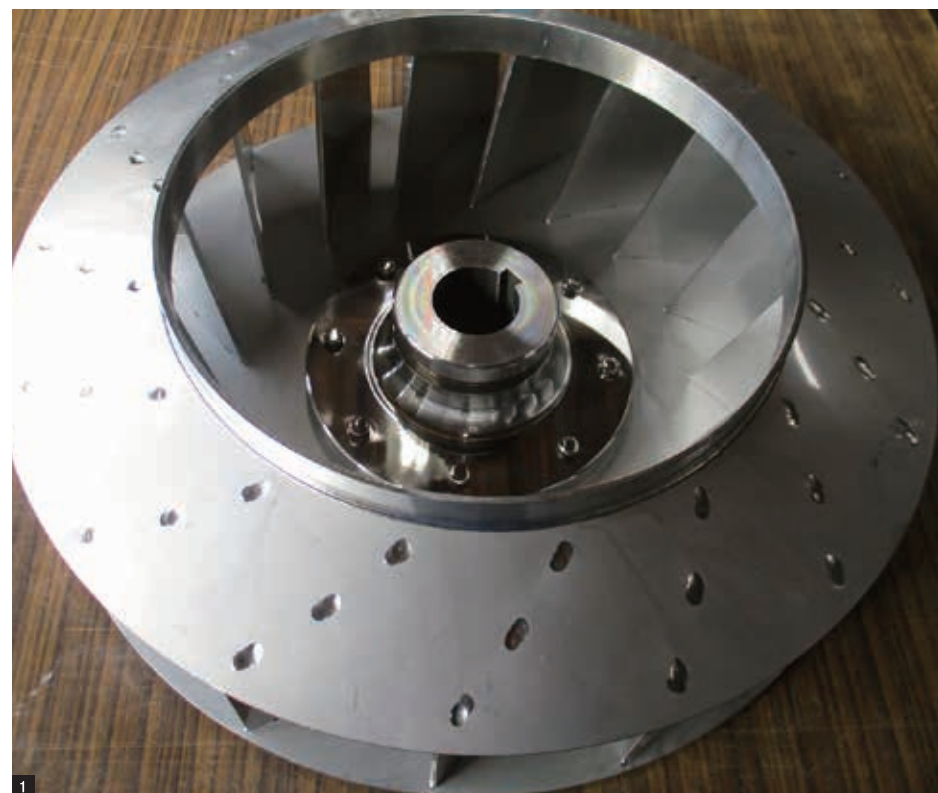
さらに複雑で高精度が求められる部品の受注を目指し、新型プレスブレーキ機「ハイブリッドドライブベンダー HG-8025」を導入した。

大サイズの部品が扱えるようになり、角度センサーによって曲げの角度を機械が調整するため、高精度な加工が実現した。従来は熟練の担当者が目視で微調整し、試作を経て加工していたが、試し曲げの必要がなくなり、リードタイムも短縮。コスト減につながり、精度が増すことで、溶接などその後の作業もスムーズになった。

指の挟み込みなどを感知するセンサーで、安全面も大きく改善。タッチ式パネルで操作しやすく、手順のサポートもあって、作業量が減った。大きく重い部品を加工する際は、追従装置が部品を支えるため、これまで2人で作業していたものが、1人でできるようになった。



ハイブリッドドライブベンダー HG8025

☒ものづくり技術 ☐革新的サービス


1 攪拌(かくはん)機ランナー
2 ステンレス製の金物カバー
3 鉄製の分割金物カバー



積極的な設備投資で 新しい分野へ挑む

既存の機械と使い分けることで、業務全体の効率を上げ、新製品の開発や顧客の開拓を見据える。これまで、新たな注文に対して、顧客と共に挑戦しては、クリアしてきた実績がある。大手の同業者などと価格競争をするのではなく、福田鉄工所にしかない技術と経験で業績を伸ばしていく上で、新型プレスブレーキ機は大きな武器。少しのズレも許されない精密機械などの部品でも、新設機械の存在が、顧客からの信頼につながる。

福田茂代表取締役は「今後も順次設備を更新し、今まで不可能だったことを出来るようにしたい。挑戦する姿勢を大切に、新しい分野である食品や医薬品関係などにも向かっていけたら」と期待を膨らませている。

■Company Data

有限会社福田鉄工所



福田鉄工所

代表者名：福田 茂
設立年：1962(昭和37)年
資本金：5,000千円
従業員数：28名
主たる業種：金属製品製造業
本社：〒690-0011
松江市東津田町1262番地1
電話：0852-21-0094
FAX：0852-25-0094
URL：<https://fukuda-sus.net/>